

登米市元気とめ食育21計画（第4期）（案）」に対する意見

意見1	「③ 3大死因標準化死亡比」について
内容・理由等	脳血管疾患が高い数値を示しているとありますが、女性に関しては県より低い数値となっていますので、何か一言ほしい。
項目名・ページ	③ 3大死因標準化死亡比・P11

●回答（意見に対する考え方）

部・課名	市民生活部健康推進課
意見に対する考え方	以下のように修正させていただきます。 本市の脳血管疾患の標準化死亡比は、改善傾向にあり特に女性は県より低くなったものの、全国と比べて高い数値にあることを追加します。

意見2	「(8) 食育について」について
内容・理由等	郷土料理、伝承料理とありますが、「はっと」しか思いつきません。2～3具体例があった方がよいのでは。
項目名・ページ	(8) 食育について・P17

●回答（意見に対する考え方）

部・課名	市民生活部健康推進課
意見に対する考え方	本市で郷土料理・伝承料理として代表的なものとして「はっと」があげられますが、その他にも油麩井やさんこや汁、おくずかけ等が家庭で作られ長く伝えられてきた料理としてあげられますので項目に具体例として加えます。

意見 3	「(9) 肥満について」について
内容・理由等	<p>① 3 歳児の肥満の割合で、20%以上の児の割合とありますが、<u>児童</u>ではどうでしょうか。</p> <p>また、各年度とも・・・高く推移とありますが、30 年度と元年度は男子の方が高く出ています。</p> <p>②では、男女とも横ばいですとありますが、女子では前年に比べて著しく下がっています。</p>
項目名・ページ	(9) 肥満について・P 18

●回答（意見に対する考え方）

部・課名	市民生活部健康推進課
意見に対する考え方	<p>①母子保健法では、1 歳から小学校就学の始期に達するまでの者を幼児と区分されておりますので 3 歳児については「幼児」という表現に、また、肥満の推移につきましては、男女とも平成 29 年度に最も高い値でしたが、その後はわずかに減少傾向にありますと修正します。</p> <p>②小・中学生の肥満の割合は、令和元年度男子 12.8%と横ばいですが女子は、11.3%と減少傾向にありますと修正します。</p>

意見 4	「④大人の肥満の割合」について
内容・理由等	18 ページのグラフが肥満度 20%以上の割合なのに対し、こちらは BMI25 以上の割合となっているので、同じ形のグラフだと勘違いしてしまう。また、BMI の解説も欲しい。
項目名・ページ	④大人の肥満の割合・P 20

●回答（意見に対する考え方）

部・課名	市民生活部健康推進課
意見に対する考え方	<p>子ども（3 歳児・小、中学生）の肥満は主に肥満度〔実測体重 (Kg) ÷身長別体重 (Kg) ×100 (%)〕を使用して評価し 20%以上を肥満としています。</p> <p>成人については BMI〔体重 ÷身長 ÷身長〕の体格指数を使用して、25 以上の場合を肥満としています。理解しやすいように解説を加えます。</p>

意見 5	「(11) 国民健康保険の医療費について」について
内容・理由等	1人当たりの医療費の県内順位について、この順位は良い方から数えてなのか、悪い方から数えてなのかわかりづらい。
項目名・ページ	(11) 国民健康保険の医療費について・P23

● 回答（意見に対する考え方）

部・課名	市民生活部健康推進課
意見に対する考え方	平成30年度の1人当たりの医療費は、県内35市町村のうち34位と低い方となっております。と修正します。

意見 6	「PTA等と連携し提供」について
内容・理由等	この内容は【はつらつ躍動期】より【すこやか成長期】の方が適切かと思いますが。
項目名・ページ	中目標 自分の体を知り心地よく暮らそうの【今度の取組】(1) バランスの良い食事と適塩の推進・P46

● 回答（意見に対する考え方）

部・課名	市民生活部健康推進課
意見に対する考え方	働き世代への働きかけが重要と考えておりますので、意識して取り組めるように、PTA世代が多い子どもを通じて親世代にも働きかけをすることが大事であるため【はつらつ躍動期】とし原文のとおりとします。